

「童謡歌カルタ」で、ともに支え合う地域づくり事業

取り組みに至る背景・事業の目的

公民館活動で知り合った仲間グループを作り、既存の歌カルタ（皆が知っている懐かしい童謡唱歌を描いたカルタ）について、高齢者向けに大きなサイズで、明るい雰囲気 of 図柄に直すため、会員が各自分担して歌に合った絵を描き、独自の「童謡歌カルタ」を完成させた。

- 老人福祉施設、障害児施設、老人クラブ及び地区自治会において、手づくりの「童謡歌カルタ」を使ったボランティア活動をすることにより、歌を通し利用者を元気づける。
- 上記施設等の要望に応じて「童謡歌カルタ」を貸与することにより、広く活用してもらう。
- 活動を通じ、高齢化時代をともに考え、ともに支え合う地域づくりを目指す。

事業内容

- 「童謡歌カルタ」をラミネート加工し、50 組作成。ボランティアで施設を訪問して活用したほか、要望に応じて歌カルタの貸与を実施した。
- 22 施設に出向き、延べ 822 人の参加があった。
- 入所施設、デイサービス、一般の老人クラブおよび公民館では、それぞれやり方や歌の内容は異なり、対象に応じた方法で楽しんでもらった。



【実施風景】

事業効果

- 「歌カルタ」の大きさを A3 版に拡大したことでより見やすくなり、認知症の入所者の方も、いつの間にか歌いだしたり、自分の番になるとお手玉を投げて歌うカードを選んだりするなどの姿が見られた。施設職員にも喜ばれ、参加型の楽しみ方を支援できた。
- 一方、コンパクトな A4 版に対する要望もあり、急きょ 2 種類の大きさを用意することで会場の広さ、参加者数に応じた柔軟な活動が展開でき、参加者に喜ばれた。
- 活動を見て会への参加希望者があった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 今後も、今回の助成金で作成した「童謡歌カルタ」を使って、未訪問の老人福祉施設、障害児施設、老人クラブ及び地区自治会を中心に、ボランティア活動を行い、より多くの皆さんに歌を通し元気づけてまいりたい。
- また、訪問済の施設においても、歌カルタを貸与することにより日常的に活用してもらう。
- 季節の行事などに応じた活動方法を研究し、より楽しめる方法を開発したい。

【選定のポイント】

施設入所者が参加しやすく、施設職員にも好評で、参加する楽しみを入所者に提供できている。

団体名	童謡歌カルタの会（上田市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	代表 溜田クラ子	事業費	351,132円
	電話 0268-38-4898	支援金額	351,000円